

# 主婦の社会的支援ネットワーク特性と 精神的健康調査の基礎分析（その1）

野 邊 政 雄・田 中 宏 二

## 目 次

1. 本報告書の目的
2. 調査地と調査対象者
3. 調査方法
4. 単純集計表  
(以上本号)
5. 主要な知見  
(以上次号)

### 1. 本報告書の目的

大規模な分業化が、都市住民が取り結ぶ社会的ネットワーク（＝ある個人が取り結ぶ広義における援助を授受する社会関係の総体）の形態や機能にどのような変容をもたらしたかに、社会学者は関心を寄せてきた。ウェルマンは、都市における社会関係の形態に関する従来の見解を、「コミュニティ崩壊論」、「コミュニティ存続論」、「コミュニティ解放論」の3つに要約・整理した（Wellman 1979）。

コミュニティ崩壊論は、テンニース（Tönnies 1887）、デュルケーム（Durkheim 1893）、ジンメル（Simmel 1902-03）、ワース（Wirth 1938）らの古典的社会学者によって提唱された。そして、彼らの見解は次のように要約できる。前近代社会では、第1次社会関係（親族関係や近隣関係）が地域社会において強固に取り結ばれていた。そして、そうした社会関係にある人々からのサポートやそうした人々との相互扶助に大いに依拠しつつ、個人の生活は成り立ちえた。社会が近代化するにつれて、特定の目標を効率的に達成しうる第2次社会関係（官僚制的機能集団）が徐々に発達し、優位となる。代わりに、第1次社会関係が衰退し、社交や援助における機能を弱体化させるので、地域社会の結束が著しく脆弱化する。その結果、人々は社会的に孤立してしまうという。

その後のアメリカの社会学者は、その見解の適否を巡って、現代の都市の社会関係を実証的に調査した。こうした研究の中から、2つの見解が出現した。1つは、現代の都市社会においても、人々は親族や近隣者と強固な社会関係を組織しており、社交や援助のために親族や近隣者に依存して暮らしているという見解である（コミュニティ存続論）（親族関係に関しては、Sussman 1953, 1959, Axelrod 1956, Young and Willmott 1957, Sussman and Burchinal 1962, Gans 1962a, 近隣関係に関しては、Dotson 1951, Greer 1956, Bell and Boat 1957, Litwak 1961, Gans 1962a, 1962b, Fellin and Litwak 1963）。そして、この見解の主張者は、第1次社会関係が社交や援助で融通性があり、第2次社会関係の機能を補完するから、現代の都市社会における第2次社会関係の発達には、第1次社会関係の存続をむしろ促進すると、解釈する（Litwak 1965）。もう1つの見解によれば、地域社会に

において親族や近隣者との社会関係は衰微してしまっただけで、交通・通信手段の発達のために、友人関係を地域社会を越えた様々な場所に網の目状に分散して組織され、本人が居住する都市のみならず、全国各地にまで延びているという (Webber 1963, Kadushin 1966, Granovetter 1973, Laumann 1973, Shulman 1976, Fischer 1976, 1982, Walker 1977, Wellman 1979, Tsai and Sigelman 1982) (コミュニティ解放論)。

他方、社会の近代化に伴って様々な心理・社会的ストレスが増加しているが、ストレス状況にある人間の心身の健康に対して、社会的支援ネットワーク (=ある個人が属する社会的ネットワークの広がりの中で、特に支援的な関係だけで構成される下位ネットワークをいう) が影響を及ぼすことを問題とする、社会的支援ネットワークの機能的側面からの研究潮流がある。1960年代に始まる社会的ネットワーク研究が、70年代にソーシャル・サポート研究と結びつき、様々な健康問題との関係が社会心理学者や社会学者によって検討されてきた (House *et al.* 1982, Stokes 1983)。彼等は社会的ネットワークに基盤を置くある種のソーシャル・サポートが、ストレスの軽減 (ストレスに対する認知の改善)、またストレスによる健康への有害な影響の緩和などに寄与することを示してきた。しかしソーシャル・サポートと健康との関係については、必ずしも一貫した結果が示されたわけではなく、その原因に概念的な問題と方法論的な問題がある。概念的な問題とは、社会的関係をネットワークサイズや接触頻度などとしてとらえる社会的ネットワークの立場 (主として社会学者による) と、社会的関係を重要な他者から援助される可能性や実際の援助としてとらえるソーシャル・サポートの立場 (主として心理学者による) の概念上の未統合にある (Pierce *et al.* 1990)。両者の概念指標を整理して用いる必要がある。方法論的な問題とは、社会的支援ネットワークと健康の関連研究の多くが横断的研究や相関的研究であり、社会的支援ネットワークの健康への因果的役割を明らかにするには予測的研究や実験的研究が必要である (田中 1992)。

ときに、社会的ネットワークと社会的支援ネットワークとの関係をどう設定するかについて論争がある。第1の見解では、サポートに関する質問によって社会的ネットワークを測定し、社会的ネットワークと社会的支援ネットワークを区別しない。フィッシャーの研究方法 (Jones and Fischer 1978, Fischer 1982) がこの例である。第2の見解によれば、サポートを希求しても、個人の取り結ぶ社会関係の一部のみがそれに役立つにすぎないから (Wellman 1979, 1981, Hall and Wellman 1982, pp. 1-2)、両者を峻別すべきだとする。この場合、サポート以外の要素 (例えば、交際頻度や知覚された親密度) を使って、社会的ネットワークを測定する。ウェルマンの研究方法 (Wellman *et al.* 1973, Wellman 1979) がこの例である。筆者のうち、野邊は社交を他の人々とのサポートの授受の一種と解釈し、社会的ネットワークと社会的支援ネットワークを同義と見做す第1の立場に依拠しつつ、データを分析する予定である。というのは、この調査では、サポート以外の要素で社会的ネットワークを測定していないからである。これに対し、田中は社会的ネットワークと社会的支援ネットワークを区別する第2の立場に立脚して、データの分析を行うつもりである。

社会的ネットワークと社会的支援ネットワークに関する前述の研究状況を勘案し、筆者らは次の3点を探究しようとした。(1)現代の都市の住民はどのような社会的ネットワークを形成し、それはウェルマンが提示した3つの見解のうちどれに最も適合するか。(2)住民の社会的ネットワークは、どのような要因によって規定されているか。(3)社会的支援ネットワークは生活ストレスの対処にどのように機能し、人々の精神的健康にどのように役だっているか。

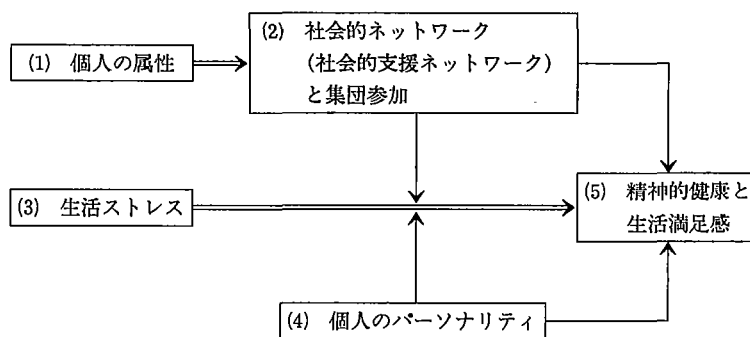


図1 研究枠組

(注)社会的ネットワーク（社会的支援ネットワーク）、生活ストレス、パーソナリティ、精神的健康については次号の補論を参照。

表1 各設問の位置づけ

要素	設問番号
(1) 個人の属性	問1～問7, 問42～問65
(2) 社会的ネットワークと集団参加	問8～問20, 問28～問41
(3) 生活ストレス	問21
(4) 個人のパーソナリティ	問22
(5) 精神的健康と生活満足感	問23～問26

これらの3点を探究するために筆者らが設定した研究枠組は、図1のようになる。この研究枠組は、大まかに、(1)個人の属性(社会階層、居住期間など)、(2)社会的支援ネットワーク(社会関係を取り結ぶ相手の人数、間柄、居住地、交際頻度、親密度、サポートの種類など)と集団参加、(3)生活ストレス、(4)個人のパーソナリティ、(5)精神的健康と生活満足感の5つの要素からなる。そして、これら5つの要素の間に、(1)個人の属性によって社会的支援ネットワークが規定されると共に、(2)個人の生活ストレスは、社会的支援ネットワークとその人のパーソナリティに媒介されつつ、精神的健康と生活満足感に影響を及ぼす、という2つの因果関係を想定している。図1の研究枠組みに基づいて、それぞれの要素を尋ねる質問を作成した。表1には、それぞれの要素と調査票の質問の対応関係を示した。

ところで、住民の社会的支援ネットワークは、その住民が居住する都市の特性によってさまざまであろう。本調査では、都市の諸特性のうちの土着性—流動性という軸に着目し、住民の流動性があまり高くない地方都市に住む住民の社会的支援ネットワークを探究することにした。そして、そうした地方都市の1つとして、岡山市を調査地に据えた。

筆者らは、以上のような目的で平成5年10月に岡山市で社会調査を実施した。本稿では、その調査の概要を説明し、単純集計表を提示する。最後に、この単純集計表を検討することから得られた知見を解説する。

## 2. 調査地と調査対象者

明治22年の市政施行によって、岡山市が成立した。その後、順次隣接する町村を編入し、市域を拡大していった。最近では、昭和44年に西大寺市、昭和46年に一宮町、津田町、高松町、吉備町、妹尾町、福田町、上道町、興除村及び足守町の9町村、昭和50年には藤田

村を合併した。市街地は同市の中心部にある。そして、何回にもわたる周辺市町村の合併のために、岡山市の周辺部には広大な農村地帯が広がっている。

調査員の人数や予算が制約されているから、調査対象者を岡山市の全住民にするのではなく、一部の地域の、研究する意義が深い特定の属性の住民に絞った。そして、調査対象者を岡山市の中心部に居住する、20歳以上60歳未満の既婚女性とした。この限定を行ったのは、次のような理由からである。

第1に、調査地域を岡山市の一部に限定したことを説明したい。前述のように、岡山市の周辺部には農村地帯が広がっている。この調査の目的が地方都市における社会的支援ネットワークと精神的健康を探究することにあるので、農村地帯に居住する住民に関してそのようなことを調査するのは、元来の調査目的に沿わない。そこで、近年合併された岡山市の周辺部を除外することにした。同市の中心部にある、昭和29年4月の合併によってできた地域（本稿では、その地域を岡山地区と呼称する）を調査地区とすることにした。

第2に、女性に調査対象を限定したのは、次の理由からである。生産年齢の男性は大部分が就労している。その上、近年自営業者が減少し、多くの人々は、企業で就労するようになった。企業における長い労働時間のために、就労している男性は長時間職場に拘束されているから、彼らの取り結ぶ社会的支援ネットワークは職場中心となり、それほど多様でないと予想できる。これに対し、女性の一部は専業主婦であり、一部はパートタイムやフルタイムで就労する。また、子供の出産や成長によって主に規定されるライフ・サイクルの移行に連れて、女性の社会的支援ネットワークは男性の場合よりもより多様に変化すると考えられる。そこで、社会的支援ネットワークが多様な形態をとるであろう女性を、調査対象に据えることにした。

第3に未婚者を調査対象から除外したのは、次の理由からである。野邊（1992）が以前に実施した調査によれば、未婚者は自らの住宅を「ねぐら」と見做し、地域社会とあまり係わらない生活をおくっているのだから、そうした人々を訪問して面接調査を行うことが難しく、調査拒否も多かった。本調査のようにそれほど全体の標本数が多くない調査で、分析に十分なほど多くの未婚者の標本を集めることができるかどうか不確実であったから、未婚者を当初から除外することにした。

第4に、60歳以上の高齢者を調査対象としなかったのは、次の理由からである。そうした人々は、より若い人々と比べて、生活状況が大きく異なる。例えば、就業していたり、子供を養育する高齢者はあまりいないであろう。そして、地域社会で長時間を過ごすようになるから、近隣関係により関与しているであろう。また、高齢者が他の人々に頻繁に求めるサポートは、より若い人々が求めるサポートと、大きく相違するであろう。そこで、高齢者の社会的支援ネットワークを正確に探索するためには、高齢者の生活状況を十分に考慮に入れた独自の質問を開発することが求められる。本調査のために作成した質問では高齢者の社会的支援ネットワークを的確に抽出できないので、そうした人々を調査対象から除外した。

以上の4点を考慮して、調査対象者を岡山市の中心部に居住する、20歳以上60歳未満の既婚女性としたのである。

### 3. 調査方法

この調査では、調査対象者を確率比例抽出法によって、抽出した。岡山地区には、59の選挙の投票区が設定されている。投票区の人口でウェイトづけした上で、それから35の投票区を選び、それぞれから20人ずつを選挙人名簿より標本を抽出した。2度選ばれた投票区もあったが、そこからは40人を抽出した。選挙人名簿には、未婚・既婚が記されていない

いので、未婚であることが明確である人が選ばれたときは、次の女性を選んだ。そして、合計で700人からなる調査台帳を作成した。

調査は面接法によって実施した。平成5年10月1日に調査依頼の葉書を台帳に記載された人に出した。10月9日から10月17日までの間に、学生調査員が該当する女性を訪問し、面接によって調査を行った。調査対象者を3回訪問しても、不在等で調査ができない場合、それ以上の訪問を行わなかった。面接調査が不完全である調査票があったが、電話と再訪問によって不明な点を質した。有効票数は398であり、無効票数は302であった。無効票の内訳は、転居11、該当者発見できず22、不在144、長期不在7、病気3、死亡1、拒否103、非該当（未婚など）11であった。回収された有効票数を該当する人がいた調査対象者数（転居、死亡、非該当を除いた677）で除した割合を回収率とすると、回収率は58.8%であった。

#### 4. 単純集計表

以下、設問に従って単純集計表を提示してゆくが、選択肢ごとに表示された数字は、それぞれを選択した人数であり、括弧内の数字は全回答者398を母数としたパーセンテージである。問9のような選択質問についてのパーセンテージに、注意が必要である。問8で町内会に「加入している」と答えた回答者のみが問9に回答しているけれど、問9の各選択肢に示されたパーセンテージは問8で町内会に「加入している」と答えた人数を母数とした割合でなく、先述の398人を母数としたパーセンテージである。ところで、問12のような複数回答が認められた質問では、選択肢のパーセンテージの合計が100にならないことは言うまでもない。

##### 問1 あなたがお生まれになったのはどこですか。

(1) 現住所で生まれた	16	(4.0%)
(2) 現住所以外の岡山市内で生まれた	121	(30.4%)
(3) 国内その他の場所	257	(64.6%)
(4) 外国	4	(1.0%)
合計	398	(100.0%)

##### 〔(3) 国内その他の場所の地方別内訳〕

北海道	2 (0.5%)	岡山県	129 (32.4%)
東北地方	6 (1.5%)	その他の中国地方	33 (8.3%)
関東地方	14 (3.5%)	四国地方	22 (5.5%)
中部地方	5 (1.3%)	九州地方	25 (6.3%)
近畿地方	21 (5.3%)	合計	257 (64.6%)

##### 〔(3) 国内その他の場所の人口規模別内訳〕

村	2 (0.5%)	20万人以上50万人未満の市	56 (14.1%)
町	93 (23.4%)	50万人以上100万人未満の市	3 (0.8%)
5万人未満の市	27 (6.8%)	100万人以上の市	32 (8.0%)
5万人以上10万人未満の市	31 (7.8%)	合計	257 (64.6%)
10万人以上20万人未満の市	13 (3.3%)		

##### 問2 (現住所あるいは岡山市生まれの人に) それではずっと岡山市内に住んでおられるのですか。

(1) 生まれてずっと岡山市内に住んでいる	89 (22.4%)
(2) 岡山市内で生まれたが、10年以内の他出経験あり	41 (10.3%)
(3) 岡山市内で生まれたが、10年以上の他出経験あり	7 (1.8%)
(4) 非該当 (現住所あるいは岡山市以外で生まれた)	261 (65.6%)
合 計	398 (100.0%)

**問 3** あなたは岡山市内に合計して何年間お住まいですか。(7ヵ月以上12ヵ月未満は1年に切り上げる)

岡山市での平均居住年数は26.50であり、標準偏差は16.02である。

**問 4** では、あなたは現住所に合計して何年間お住まいですか。(7ヵ月以上12ヵ月未満は1年に切り上げる)

現住所での平均居住年数は14.60であり、標準偏差は11.74である。

**問 5** あなたは10歳から20歳までの10年間はどこで一番長く過ごしましたか。

(1) 現住所ですごした	27 (6.8%)
(2) 現住所以外の岡山市内ですごした	151 (37.9%)
(3) その他の場所	220 (55.3%)
合 計	398 (100.0%)

〔(3) その他の場所の地方別内訳〕

北海道	1 (0.3%)	岡山県	116 (29.1%)
東北地方	5 (1.3%)	その他の中国地方	30 (7.5%)
関東地方	12 (3.0%)	四国地方	17 (4.3%)
中部地方	7 (1.8%)	九州地方	19 (4.8%)
近畿地方	13 (3.3%)	合 計	220 (55.3%)

〔(3) その他の場所の人口規模別内訳〕

村	2 (0.5%)	20万人以上50万人未満の市	37 (9.3%)
町	88 (22.1%)	50万人以上100万人未満の市	9 (2.3%)
5万人未満の市	25 (6.3%)	100万人以上の市	13 (3.3%)
5万人以上10万人未満の市	23 (5.8%)	合 計	220 (55.3%)
10万人以上20万人未満の市	23 (5.8%)		

**問 6** あなたは現住所に来る前はどこに住んでおられましたか。

(1) はじめからここに (現住所)に住んでいる	15 (3.8%)
(2) 岡山市内の別の場所に住んでいた	233 (58.5%)
(3) その他の場所	150 (37.7%)
合 計	398 (100.0%)

〔(3) その他の場所の地方別内訳〕

東北地方	1 (0.3%)	その他の中国地方	26 (6.5%)
関東地方	13 (3.3%)	四国地方	10 (2.5%)
中部地方	2 (0.5%)	九州地方	11 (2.8%)

主婦の社会的支援ネットワーク特性と精神的健康調査の基礎分析（その1）

近畿地方	15 (3.8%)	合 計	150 (37.7%)
岡山県	72 (18.1%)		

[(3) その他の場所の人口規模別内訳]

村	1 (0.3%)	20万人以上50万人未満の市	48 (12.1%)
町	29 (7.3%)	50万人以上100万人未満の市	4 (1.0%)
5万人未満の市	13 (3.3%)	100万人以上の市	23 (5.8%)
5万人以上10万人未満の市	21 (5.3%)	合 計	150 (37.7%)
10万人以上20万人未満の市	11 (2.8%)		

問7 昭和58年から現在までの10年間で、住所を何回変わりましたか。

平均転居回数は1.06であり、標準偏差は1.51である。

問8 この調査では、自治会、町内会、部落会、組合などといった地域の住民自治組織を町内会と統一して呼ばさせていただきます。お宅は町内会に加入していらっしゃいますか。

(1) 加入している 375 (94.2%) (2) 加入していない 23 (5.8%) 合 計 398 (100.0%)

問9 (町内会に加入している人に) 現在、町内会の役員をされていますか。

(1) 役員をしている 64 (16.1%)  
 (2) 役員をしていない 311 (78.1%)  
 (3) 非該当 (町内会に加入していない) 23 (5.8%)  
 合 計 398 (100.0%)

問10 (町内会に加入している人に) あなたの町内会は次のどれに役立っていると思いますか。最も当てはまるものを1つだけお答え下さい。

(1) 町内の親睦とまとまりのため 125 (31.4%)  
 (2) 防犯・保健・衛生等の日常生活のため 49 (12.3%)  
 (3) 県・市からの連絡、通知等のため 167 (42.0%)  
 (4) 町内の意志や要求を市に伝えるため 12 (3.0%)  
 (5) その他 3 (0.8%)  
 (6) 役に立っていない 19 (4.8%)  
 (7) 非該当 (町内会に加入していない) 23 (5.8%)  
 合 計 398 (100.0%)

問11 お宅では、ご近所から害虫の駆除やドブの清掃など、労力奉仕のような形で協力を求められた場合、あなたのお考えに一番近いものを1つ選んで下さい。

(1) すすんで協力する 169 (42.5%)  
 (2) 求められれば、協力する 220 (55.3%)  
 (3) そのつど、お金を払って免除してもらおう 1 (0.3%)  
 (4) 町内会費で人を雇う 1 (0.3%)  
 (5) 市役所にやらせるよう皆で話し合う 3 (0.8%)  
 (6) 本来、市役所がやるべきだから、拒否する 1 (0.3%)  
 (7) その他 3 (0.8%)  
 合 計 398 (100.0%)

問12 あなたの町内にある町内会、婦人会、老人会が主催する活動で、あなたが過去1年以内に参加したのはどんなことですか。次のうちからあげてください。いくつ上げられても結構です。

(1) 消防援助	9 (2.3%)	(10) 成人式・敬老会	38 (9.5%)
(2) 夜 警	9 (2.3%)	(11) 運動・レクリエーション・旅行	145 (36.4%)
(3) 空き缶拾い	75 (18.8%)	(12) 盆踊り・祭り	176 (44.2%)
(4) 空き缶・空瓶回収	85 (21.4%)	(13) 慶弔の世話	119 (29.9%)
(5) 清 掃	212 (53.3%)	(14) 総会に出席	104 (26.1%)
(6) 消 毒	19 (4.8%)	(15) 消費者モニター	1 (0.3%)
(7) 草花を道路に植える	17 (4.3%)	(16) その他の活動	6 (1.5%)
(8) 道路の維持・修繕作業	12 (3.0%)	(17) な し	52 (13.1%)
(9) 募金の協力	202 (50.8%)		

問13 現在、あなたが加入している組織や団体をすべてあげてください。いくつ上げられても結構です。

(1) 防犯協会・消防団	11 (2.8%)
(2) 婦人会	86 (21.6%)
(3) 幼稚園入園前の子供を持つ母親の会	22 (5.5%)
(4) 子供会 (父兄として)	78 (19.6%)
(5) P.T.A	127 (31.9%)
(6) 老人会	5 (1.3%)
(7) 愛育委員会	27 (6.8%)
(8) 商店会	7 (1.8%)
(9) 同業の組会または団体	34 (8.5%)
(10) 農 協	25 (6.3%)
(11) 生 協 (生活協同組合)	179 (45.0%)
(12) 政党・政治団体	13 (3.3%)
(13) 労働組合	17 (4.3%)
(14) 宗教団体	39 (9.8%)
(15) 遺族会	0 (0%)
(16) 学術研究団体	11 (2.8%)
(17) 県人会・同郷団体	2 (0.5%)
(18) 趣味の会・スポーツ団体 (公民館やカルチャー・センターの活動も含む)	109 (27.4%)
(19) ロータリークラブ・ライオンズクラブ	4 (1.0%)
(20) 講無尽	3 (0.8%)
(21) 住民運動の団体	3 (0.8%)
(22) ボランティアグループ	5 (1.3%)
(23) 学習障害児親の会	1 (0.3%)
(24) な し	66 (16.6%)

問14 公民館やカルチャー・センターで行われる各種講座や同好会などに過去1年以内に参加されたことはありますか。

(1) ある	132 (33.2%)	(2) ない	266 (66.8%)	合 計	398 (100.0%)
--------	-------------	--------	-------------	-----	--------------

問15 (各種講座や同好会に参加された方へ) 参加されていたときは、どのくらい頻繁に活動されましたか。



主婦の社会的支援ネットワーク特性と精神的健康調査の基礎分析（その1）

(1) ほとんど毎日	1	(0.3%)
(2) 週に1～2回	64	(16.1%)
(3) 月に2～3回	26	(6.5%)
(4) 月に約1回	19	(4.8%)
(5) 年に数回	20	(5.0%)
(6) ほとんど活動しなかった	2	(0.5%)
(7) 非該当（各種講座や同好会に参加しなかった）	226	(66.8%)
合計	398	(100.0%)

問16 一般的に「近所づき合い」の仕方には、いろいろな程度ものがありますが、あなたは、次のうちのどれが望ましいものとお考えですか。1つだけ選んで下さい。

(1) 心をうちわって、ざっくばらんに話したり相談したりする	41	(10.3%)
(2) お互いの生活を大切に節度をもってつきあう	325	(81.7%)
(3) ほどほどに調子を合わせるようにする	20	(5.0%)
(4) 必要最小限のことに限ってつき合う（あいさつだけなど）	11	(2.8%)
(5) 近所づき合いはできるだけしない	1	(0.3%)
合計	398	(100.0%)

問17 では、あなたはこの町内で、実際にどの程度の近所づき合いをされていますか。

(1) 心をうちわって、ざっくばらんに話したり相談したりする	31	(7.8%)
(2) お互いの生活を大切に節度をもってつきあう	260	(65.3%)
(3) ほどほどに調子を合わせるようにする	39	(9.8%)
(4) 必要最小限のことに限ってつき合う（あいさつだけなど）	54	(13.6%)
(5) 近所づき合いはほとんどない	14	(3.5%)
合計	398	(100.0%)

問18 隣近所や地域の人々との生活はどうあるべきか、あなたの考えに近いものを1つ選んで下さい。

(1) この土地のしきたりや習慣に従い、できるだけお互いの和を大切にしていきたい	240	(60.3%)
(2) この土地の環境や生活を良くするため、市や国に要求を出していくが、わずらわしい隣近所との深いつき合いはなるべくきけたい	24	(6.0%)
(3) この土地の環境や生活を良くするのは自分たちの責任でもあるから、住民の立場で積極的に協力していきたい	122	(30.7%)
(4) この土地を良くしていくことはあまり関心はなく、できるだけ自分の生活の方を大切にしたい	12	(3.0%)
合計	398	(100.0%)

問19 最近、風俗営業の建物、ボウリング場など住宅環境にふさわしくない工事が行われることがあります。このような場合、あなただったらどの程度反対運動に参加なさいますか。

(1) 自分が運動の先頭に立つ	3	(0.8%)
(2) 駅前などに立ってチラシを配ったり、署名をあつめたりする。	24	(6.0%)
(3) 会合が必要であつたら出席する。	112	(28.1%)
(4) 資金カンパを求められたらそれに応ずる	19	(4.8%)
(5) 署名を求められたらそれに応ずる	288	(57.3%)

(6) 一切関係したくない	12 (3.0%)
合 計	398 (100.0%)

問20 市の行政に要望や不満があるとき、あなたはまずどんな方法をとりますか。

(1) 市役所に直接出かけるか電話をする	91 (22.9%)
(2) 市会議員に頼む	17 (4.3%)
(3) 町内会の役員に話す	143 (35.9%)
(4) (3)以外の地元有力者に話す	3 (0.8%)
(5) 町内会の会合で相談する	57 (14.3%)
(6) 婦人会・青年団等で相談する	6 (1.5%)
(7) 利害関係者で相談する	14 (3.5%)
(8) 特に何もしない	67 (16.8%)
合 計	398 (100.0%)

問21 過去、半年間に、あなたの家庭では次のような事柄が起こったでしょうか。起こった場合、それはどれくらい大変だったかを、選択肢からお答えください。

	起きなかった	起きた				合 計
		何ということ はなかった	どちらかといえ ば何ということ はなかった	どちらかといえ ば大変だった	大変だった	
(1) あなたを含めて家族のだれか、あるいは近親者が、病にかかったり、大けがをした	269 (67.6%)	5 (1.3%)	21 (5.3%)	53 (13.3%)	50 (12.6%)	398 (100.0%)
(2) 家族のだれかが結婚した	376 (94.5%)	3 (0.8%)	8 (2.0%)	8 (2.0%)	3 (0.8%)	398 (100.0%)
(3) 家族や近親者の誰か、あるいは親しい友人が死亡した	295 (74.1%)	12 (3.0%)	15 (3.8%)	33 (8.3%)	43 (10.8%)	398 (100.0%)
(4) 子供が進学のための受験期によつかった	344 (86.4%)	12 (3.0%)	14 (3.5%)	11 (2.8%)	17 (4.3%)	398 (100.0%)
(5) 家族の人が、学校や職場などで問題を起こした	387 (97.2%)	3 (0.8%)	2 (0.5%)	1 (0.3%)	5 (1.3%)	398 (100.0%)
(6) 親との同居を始めた	392 (98.5%)	1 (0.3%)	2 (0.5%)	2 (0.5%)	1 (0.3%)	398 (100.0%)
(7) 家族に大きな出費（家の購入・事業・事故など）があった	316 (79.4%)	10 (2.5%)	13 (3.3%)	33 (8.3%)	26 (6.5%)	398 (100.0%)
(8) 進学・就職・結婚などで子どもが家を出た	366 (92.0%)	10 (2.5%)	6 (1.5%)	10 (2.5%)	6 (1.5%)	398 (100.0%)
(9) 近所の家ともめ事を起こした	391 (98.2%)	3 (0.8%)	1 (0.3%)	2 (0.5%)	1 (0.3%)	398 (100.0%)
(10) 子どもが生まれた	374 (94.0%)	5 (1.3%)	2 (0.5%)	8 (2.0%)	9 (2.3%)	398 (100.0%)
(11) 子どもが就職をした・働きだした	375 (94.2%)	12 (3.0%)	7 (1.8%)	1 (0.3%)	3 (0.8%)	398 (100.0%)
(12) 子どもが学校（小・中・高・大・その他）に入学した	325 (81.7%)	29 (7.3%)	18 (4.5%)	17 (4.3%)	9 (2.3%)	398 (100.0%)
(13) 単身赴任や夫婦のイザコザなどで別居した	389 (97.7%)	3 (0.8%)	2 (0.5%)	1 (0.3%)	3 (0.8%)	398 (100.0%)
(14) 家庭の収入が大幅に減った	359 (90.2%)	7 (1.8%)	8 (2.0%)	12 (3.0%)	12 (3.0%)	398 (100.0%)
(15) あなたを含めて、家族のだれかに、定年退職、失業、転勤、出向などがあった	363 (91.2%)	13 (3.3%)	8 (2.0%)	8 (2.0%)	6 (1.5%)	398 (100.0%)

これらの質問項目は生活ストレス尺度を構成する。「起きなかった」を0、「何ということはない」を1、「どちらかといえば何ということはない」を2、「どちらかといえば大変だった」を3、「大変だった」を4とし、すべての質問項目を加算すると、平均4.42、標準偏差4.52となる。

問22

次にあげる言葉は、人の性格を表わす言葉です。その性格があなたにどの程度あてはまるかを、選択肢の中からお答えください。あまり深く考えずに、直感的にお答え下さい。

	あてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる	合計
(1) 外向的である	69 (17.3%)	60 (15.1%)	125 (31.4%)	97 (24.4%)	47 (11.8%)	398 (100.0%)
(2) 野心がある	162 (40.7%)	69 (17.3%)	104 (26.1%)	46 (11.6%)	17 (4.3%)	398 (100.0%)
(3) 実行力がある	43 (10.8%)	64 (16.1%)	131 (32.9%)	113 (28.4%)	47 (11.8%)	398 (100.0%)
(4) 自信がある	69 (17.3%)	81 (20.4%)	182 (45.7%)	48 (12.1%)	18 (4.5%)	398 (100.0%)
(5) 物事をうまくやれるタイプ	37 (9.3%)	71 (17.8%)	159 (39.9%)	99 (24.9%)	32 (8.0%)	398 (100.0%)
(6) 自分のやり方を通すタイプ	36 (9.0%)	64 (16.1%)	123 (30.9%)	121 (30.4%)	54 (13.6%)	398 (100.0%)
(7) 楽天的である	32 (8.0%)	32 (8.0%)	110 (27.6%)	114 (28.6%)	110 (27.6%)	398 (100.0%)
(8) 落ち着きがある	38 (9.5%)	57 (14.3%)	148 (37.2%)	112 (28.1%)	43 (10.8%)	398 (100.0%)
(9) 陽気である	13 (3.3%)	18 (4.5%)	110 (27.6%)	156 (39.2%)	101 (25.4%)	398 (100.0%)

(1)~(6)の質問項目は自信尺度、(7)~(9)は楽天性尺度を構成する。「あてはまらない」を1、「あまりあてはまらない」を2、「どちらともいえない」を3、「ややあてはまる」を4、「あてはまる」を5とし、(1)~(6)の質問項目を加算すると、平均17.28、標準偏差4.59となる。同様に、(7)~(9)の質問項目を加算すると、平均10.55、標準偏差2.35となる。

問23

数週間前から現在までの間の健康状態についてお尋ねします。次の質問に対して、最も適当と思われるものを選択肢の中からお答えください。

	全くなかった	あまりなかった	あった	たびたびあった	合計
(1) 気分や健康状態は良いと感じることが*	22 (5.5%)	107 (26.9%)	203 (51.0%)	66 (16.6%)	398 (100.0%)
(2) 疲労回復剤(ドリンク・ビタミン剤)を飲みたいと思ったことは	226 (56.8%)	52 (13.1%)	96 (24.1%)	24 (6.0%)	398 (100.0%)
(3) 元気なく疲れを感じたことは	57 (14.3%)	109 (27.4%)	183 (46.0%)	49 (12.3%)	398 (100.0%)
(4) 病気だと感じたことは	213 (53.5%)	103 (25.9%)	67 (16.8%)	15 (3.8%)	398 (100.0%)
(5) 頭痛がしたことは	179 (45.0%)	68 (17.1%)	130 (32.7%)	21 (5.3%)	398 (100.0%)
(6) 頭が重いように感じたことは	179 (45.0%)	88 (22.1%)	110 (27.6%)	21 (5.3%)	398 (100.0%)
(7) 身体がほてったり寒気がしたことは	253 (63.6%)	63 (15.8%)	70 (17.6%)	12 (3.0%)	398 (100.0%)
(8) 心配ごとがあつて、よく眠れないようなことは	241 (60.6%)	84 (21.1%)	50 (12.6%)	23 (5.8%)	398 (100.0%)
(9) 夜中に目を覚ますことは	177 (44.5%)	87 (21.9%)	103 (25.9%)	31 (7.8%)	398 (100.0%)
(10) いつもストレスを感じたことが	110 (27.6%)	166 (41.7%)	90 (22.6%)	32 (8.0%)	398 (100.0%)
(11) イライラして、おこりっぽくなることは	92 (23.1%)	138 (34.7%)	131 (32.9%)	37 (9.3%)	398 (100.0%)
(12) たいした理由がないのに、何かが悪くなったり、取り乱すことは	318 (79.9%)	56 (14.1%)	20 (5.0%)	4 (1.0%)	398 (100.0%)
(13) いつもよりいろいろなことを重荷と感じたことは	208 (52.3%)	107 (26.9%)	72 (18.1%)	11 (2.8%)	398 (100.0%)
(14) 不安を感じ緊張したことは	211 (53.0%)	100 (25.1%)	76 (19.1%)	11 (2.8%)	398 (100.0%)
(15) いつもより忙しく活動的な生活を送ることが*	75 (18.8%)	103 (25.9%)	164 (41.2%)	56 (14.1%)	398 (100.0%)
(16) いつもより何かするのに余計に時間がかかることが	163 (41.0%)	149 (37.4%)	69 (17.3%)	17 (4.3%)	398 (100.0%)
(17) いつもよりすべてがうまくいっていると感じるものが*	70 (17.6%)	195 (49.0%)	117 (29.4%)	16 (4.0%)	398 (100.0%)
(18) 毎日している家事や仕事が順調に運ぶことが*	27 (6.8%)	105 (26.4%)	236 (59.3%)	30 (7.5%)	398 (100.0%)
(19) いつもより自分のしていることに生きがいを感じるものが*	31 (7.8%)	175 (44.0%)	173 (43.5%)	19 (4.8%)	398 (100.0%)
(20) いつもよりスムーズに(容易に)物ごとを決めるものが*	35 (8.8%)	175 (44.0%)	174 (43.7%)	14 (3.5%)	398 (100.0%)
(21) いつもより日常生活を楽しく送ることが*	23 (5.8%)	122 (30.7%)	216 (54.3%)	37 (9.3%)	398 (100.0%)
(22) 自分は役に立たない人間だと考えたことは	220 (55.3%)	119 (29.9%)	53 (13.3%)	6 (1.5%)	398 (100.0%)
(23) 人生に全く望みを失ったと感じたことは	311 (78.1%)	59 (14.8%)	22 (5.5%)	6 (1.5%)	398 (100.0%)
(24) 生きていることに意味がないと感じたことは	330 (82.9%)	46 (11.6%)	18 (4.5%)	4 (1.0%)	398 (100.0%)
(25) この世から消えてしまいたいと考えたことは	348 (87.4%)	30 (7.5%)	17 (4.3%)	3 (0.8%)	398 (100.0%)

(26) ノイローゼ気味で何もすることができないと考えたことは	356 (89.4%)	27 (6.8%)	9 (2.3%)	6 (1.5%)	398 (100.0%)
(27) 死んだ方がましだと考えたことは	362 (91.0%)	24 (6.0%)	10 (2.5%)	2 (0.5%)	398 (100.0%)
(28) 自殺しようと考えたことが	383 (96.2%)	12 (3.0%)	3 (0.8%)	0 (0%)	398 (100.0%)

\* 逆転項目を示す。

(1)~(7)の質問項目は身体症状尺度, (8)~(14)の質問項目は不安と不眠尺度, (15)~(21)の質問項目は社会的活動障害尺度, (22)~(28)の質問項目はうつ状態尺度を構成する。更に, (1)~(28)すべての質問項目は GHQ 精神健康尺度を構成する。「全くなかった」を0, 「あまりなかった」を1, 「あった」を2, 「たびたびあった」を3とした。ただし, 逆転項目にはその反対の得点を与えた。そして, それぞれの尺度ごとに質問項目を加算した。身体症状尺度の平均は6.79, 標準偏差は4.06, 不安と不眠尺度の平均は5.70, 標準偏差は4.17, 社会的活動障害尺度の平均は9.93, 標準偏差は3.06, 鬱状態尺度の平均は1.66, 標準偏差は2.71, 精神健康尺度の平均は24.09, 標準偏差は9.85である。

**問24** あなたは今の生活についてどれくらい張り合いを感じていますか。次の質問に対して最も  
適当と思われるものをカードの選択肢の中からお答えください。

	まったくない	あまりない	どちらとも いえない	かなりある	たびたびある	合計
(1) ふだんの生活でも, 心がと きめくような楽しいことが	15 (3.8%)	91 (22.9%)	141 (35.4%)	110 (27.6%)	41 (10.3%)	398 (100.0%)
(2) 今の生活では自分の力を十分 発揮できないと思うことが*	52 (13.1%)	121 (30.4%)	135 (33.9%)	70 (17.6%)	20 (5.0%)	398 (100.0%)
(3) 毎日がただ何となく過ぎ て行くような感じが*	64 (16.1%)	93 (23.4%)	108 (27.1%)	98 (24.6%)	35 (8.8%)	398 (100.0%)
(4) もっと別の生き方をして みたいと思うことが*	72 (18.1%)	110 (27.6%)	85 (21.4%)	76 (19.1%)	55 (13.8%)	398 (100.0%)
(5) とときどき, 毎日の生活にむ なしさを感じるものが*	118 (29.6%)	140 (35.2%)	79 (19.8%)	29 (7.3%)	32 (8.0%)	398 (100.0%)

\* 逆転項目を示す。

これらの質問項目は充実感尺度を構成する。(1)の質問項目の選択肢のうち, 「まったくない」を0, 「あまりない」を1, 「どちらともいえない」を2, 「かなりある」を3, 「たびたびある」を4とした。ただし, (2)~(5)は逆転項目であり, その反対の得点を与えた。そして, (1)~(5)すべての質問項目を加算すると, 平均11.48, 標準偏差3.82となる。

**問25** あなたが, 自分の生活の中で, 一番生きがいを感じているものは, 次のうちどれでしょう  
か。1つだけ選んで下さい。

(1) 家庭の建設にいそしんだり, 子どもの成長を見守ったりすることに, 一番生きがいを感じる	240 (60.3%)
(2) 会社で仕事することに, 一番生きがいを感じる	51 (12.8%)
(3) ボランティア活動や町内会活動に, 一番生きがいを感じる	9 (2.3%)
(4) 趣味や娯楽で余暇を楽しむことに, 一番生きがいを感じる	77 (19.3%)
(5) 特別生きがいを感じるようなものはない	17 (4.3%)
(6) その他	4 (1.0%)
合計	398 (100.0%)

**問26** あなたは毎日の生活に, 100点満点でいえば, 何点ぐらいの生活満足感をお持ちですか。

平均点は72.89, 標準偏差は13.81である。

**問27** 現在一緒に生活しておいでな家族員について、続柄、年齢、働いていらっしゃるかどうかを教えてください。（続柄が父親・母親の場合は、夫あるいは本人の父親・母親かを尋ねる。）

〔家族形態別内訳〕

夫婦のみ	67 (16.8%)	その他の家族形態	43 (10.8%)
夫婦＋子供	220 (55.3%)	合計	398 (100.0%)
夫婦＋（両）親＋子供	68 (17.1%)		

〔回答者の年齢分布〕

21～30歳	41 (10.3%)	51～60歳	109 (27.4%)
31～40歳	124 (31.2%)	合計	398 (100.0%)
41～50歳	124 (31.2%)		

〔回答者の平均年齢〕

回答者の平均年齢は43.09で、その標準偏差は9.39である。

**問28** もしあなたが2～3ヵ月病気やけがで入院した場合、家族の世話を頼むことができる人がいますか。もし頼む人がいれば、その人の名前を教えてください。

**問29** 急に2～3万円のお金が必要になったとき、気がねなく借りられる人はいますか。もしあれば、その人の名前を教えてください。

**問30** （働いている方に）あなたの職場での仕事について気軽に話をしたり、相談をしたりすることができる人がいますか。もしあれば、その人の名前を教えてください。

**問31** 陰口や子供の成績のようなちょっとした心配事があるとき、話を聞いてくれる人がいますか。もしあれば、その人の名前を教えてください。

**問32** 何かのことで失望したり、悲しい出来事を体験してひどく落ち込んでいるとき、心からなぐさめてくれる人はいますか。もしあれば、その人の名前を教えてください。

**問33** 1週間、家族全員で家を空けるときの、植物に水をやったり、ペットに餌をやったり、配達品を預かってもらったりといったような留守の間の世話を誰かに頼むことができますか。もし頼む人がいれば、その人の名前を教えてください。ここでは、同居する家族は除いて下さい。

**問34** 調味料や自転車を借りたり、買い物などに車に乗せてもらったりすることはありますか。もし頼む人がいれば、その人の名前を教えてください。ここでは、同居する家族は除いて下さい。

**問35** 過去3ヵ月以内に、電話で世間話をしたり、一緒に食事をしたり、お茶を飲んだり、あるいは映画や遊園地などに一緒に出かけるようなことをした人はいますか。もしあれば、その人の名前を教えてください。ここでは、同居する家族は除いて下さい。

以上の8つの質問で、おつき合いをされている相手の方のお名前を挙げていただきました。それぞれの方について、もう少し詳しくお伺いします。

## 問36

1. その方の性別を教えてください。
2. その方とは、どのような間柄ですか。
3. その方が現在住んでおられるところはどこですか。
4. あなたはその方と、どの程度頻繁にお会いになりますか。
5. あなたはその方と、手紙や電話でどの程度頻繁に連絡を取り合いますか。
6. その方は、あなたにとってどのくらい親しく、大切な人ですか。

回答者は問28～問35の質問に重複を除いて2804人の名前を挙げた。つまり、1人当たり平均7.045人を挙げた。これを相手の性別、間柄別、居住地別、大切な程度別に集計すると次のようになる。単位は人であり、括弧内の数字は標準偏差である。

〔性別〕

男 1.422 (1.283) 女 5.623 (3.364) 合 計 7.045 (3.809)

〔間柄×居住地〕

間 柄	居住地 歩いて 15分以内	岡山市内	岡山県内	岡山県外	合 計
(同居している) 家族	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1.025 (1.021)
親 族	0.347 (0.755)	0.879 (1.201)	0.472 (0.941)	0.500 (0.960)	2.198 (1.709)
職場の同僚・上司	0.058 (0.354)	0.452 (1.084)	0.058 (0.273)	0.018 (0.150)	0.585 (1.327)
近所の人	0.867 (1.337)	0.083 (0.341)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0.950 (1.344)
友 人	0.497 (1.151)	1.369 (1.868)	0.221 (0.528)	0.198 (0.665)	2.286 (2.446)
合 計	1.769 (2.011)	2.784 (2.563)	0.751 (1.190)	0.716 (1.300)	7.045 (3.809)

居住地別の合計には家族の人数1.025が含まれていないことに留意されたい。  
居住地別の合計を加算したものに、家族の人数を加えると、総合計7.045になる。

〔間柄×親密度〕

間 柄	大切な程度 大切な人	非常に親しく 大切な人	かなり親しく 大切な人	ふつうに親しく 大切な人	合 計
(同居している) 家族	0.947 (0.991)	0.063 (0.263)	0.015 (0.122)	—	1.025 (1.021)
親 族	1.515 (1.424)	0.525 (1.028)	0.158 (0.534)	—	2.198 (1.709)
職場の同僚・上司	0.035 (0.299)	0.188 (0.656)	0.362 (0.947)	—	0.585 (1.327)
近所の人	0.068 (0.352)	0.307 (0.791)	0.575 (1.028)	—	0.950 (1.344)
友 人	0.319 (0.772)	1.060 (1.448)	0.907 (1.666)	—	2.286 (2.446)
合 計	2.884 (1.859)	2.143 (2.093)	2.018 (2.323)	—	7.045 (3.809)

**問37** 現在あなたが取り組んでおられる人間関係を全体として見た場合、周囲の人々との関係にどの程度満足していますか。

(1) まったく満足している	31 (7.8%)	(4) 少しだけ満足している	21 (5.3%)
(2) かなり満足している	161 (40.5%)	(5) 全然満足していない	4 (1.0%)
(3) まあまあ満足している	181 (45.5%)	合 計	398 (100.0%)

**問38** あなたやご主人の職場仲間の人たちと、職場の外で、どのくらい頻繁に、行き来されますか。職場仲間の人たちと行き来される回数を合計して答えて下さい。(行き来とは、例えば、会って話をしたり、食事やお茶に家へ招いたり・招かれたりなどのことです。)

(1) 週に1回以上	35 (8.8%)	(4) 年に数回	110 (27.6%)
(2) 月に2～3回	36 (9.0%)	(5) ほとんど行き来しない	164 (41.2%)
(3) 月に約1回	53 (13.3%)	合 計	398 (100.0%)

**問39** あなたないしあなたのご主人の同居されていない家族や親戚の人たちとどのくらい頻繁に行き来されますか。そうした家族や親戚と行き来される回数を合計して答えて下さい。

(1) 週に1回以上	87 (21.9%)	(4) 年に数回	139 (34.9%)
(2) 月に2～3回	84 (21.1%)	(5) ほとんど行き来しない	22 (5.5%)
(3) 月に約1回	66 (16.6%)	合 計	398 (100.0%)

**問40** 歩いて5分以内に住んでいる人たちを近所の人たちとします。近所の人たちとどのくらい頻繁に行き来されますか。近所の人たちと行き来される回数を合計して答えて下さい。職場や親戚の人たちを除きます。

(1) 週に1回以上	189 (47.5%)	(4) 年に数回	29 (7.3%)
(2) 月に2～3回	55 (13.8%)	(5) ほとんど行き来しない	102 (25.6%)
(3) 月に約1回	23 (5.8%)	合 計	398 (100.0%)

**問41** 友人の人たちとどのくらい頻繁に行き来されますか。友人の人たちと行き来される回数を合計して答えて下さい。

(1) 週に1回以上	131 (32.9%)	(4) 年に数回	77 (19.3%)
(2) 月に2～3回	99 (24.9%)	(5) ほとんど行き来しない	39 (9.8%)
(3) 月に約1回	52 (13.1%)	合 計	398 (100.0%)

**問42** あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。

(1) 持ち家（一戸建て）	258 (64.8%)	(6) 公団公社住宅（賃貸）	1 (0.3%)
(2) 持ち家（マンションなど）	13 (3.3%)	(7) 社宅・公務員住宅	32 (8.0%)
(3) 民間の借家（一戸建て）	47 (11.8%)	(8) その他	3 (0.8%)
(4) 民間アパート・マンション（賃貸）	42 (10.6%)	合 計	398 (100.0%)
(5) 市・県営住宅（賃貸）	2 (0.5%)		

**問43** お宅では、今後とも現在住んでいる家（現住所）に住むつもりでしょうか。

(1) 今後ともずっと住むつもりである	251 (63.1%)
---------------------	-------------

(2) できれば転居したい	49 (12.3%)
(3) 転居する予定である (ほぼ決定している)	51 (12.8%)
(4) わからない	47 (11.8%)
合 計	398 (100.0%)

問44 あなたは、岡山市内にずっと住みたいと思いますか。次のうち、あなたのお考えに近いものを1つ選んで下さい。

(1) ぜひ、いつまでもここに住んでいたい	306 (76.9%)
(2) ここに住んでいたくないが、仕方がないのでずっと住むことになるだろう	21 (5.3%)
(3) できれば他に移りたい	16 (4.0%)
(4) 最終的には、ふるさとに帰りたい	42 (10.6%)
(5) ここで暮らしたくない。よそで暮らしたいと思っている	3 (0.8%)
(6) 転居する予定	5 (1.3%)
(7) わからない	5 (1.3%)
合 計	398 (100.0%)

問45 同居しておられない、あなたないしご主人のどなたかは岡山市内にお住まいですか。

(1) いる	183 (46.0%)	(2) いない	215 (54.0%)	合 計	398 (100.0%)
--------	-------------	---------	-------------	-----	--------------

問46 同居しておられない、あなたないしご主人の兄弟姉妹のどなたかは岡山市内にお住まいですか。

(1) いる	247 (62.1%)	(2) いない	151 (37.9%)	合 計	398 (100.0%)
--------	-------------	---------	-------------	-----	--------------

問47 あなたのお仕事は、大きく分けてこの表のどれにあたりますか。

(1) 経営者 (重役)、役員	6 (1.5%)
(2) 常時雇用されている一般従業者	61 (15.3%)
(3) 臨時雇用、パート・アルバイト	85 (21.4%)
(4) 単 独 (個人・自由業)	16 (4.0%)
(5) 自営業主 (雇っている人が1-4人まで)	5 (1.3%)
(6) 家族従業者	50 (12.6%)
(7) 無 職 (主婦専業)	175 (44.0%)
(8) 学 生	0 (0%)
合 計	398 (100.0%)

問48 (働いておられる方へ) あなたが働いている従業員は、どのような事業を営んでいますか。

問49 (働いておられる方へ) あなたは役所にお勤めですか。民間の会社にお勤めの場合、従業員 (雇われている人) は会社全体で何人ぐらいですか。

(1) 官公庁	12 (3.0%)	(7) 500-999人	5 (1.3%)
(2) な し	32 (8.0%)	(8) 1000人以上	18 (4.5%)
(3) 1-4人	39 (9.8%)	(9) 不 明	5 (1.3%)
(4) 5-29人	67 (16.8%)	(10) 非該当 (無職)	175 (44.0%)
(5) 30-299人	36 (9.0%)	合 計	398 (100.0%)



主婦の社会的支援ネットワーク特性と精神的健康調査の基礎分析（その1）

(6) 300—499人 9 (2.3%)

**問50** (働いておられる方へ) 従業先で、あなたはどんな仕事をしておられるのですか。

[SSM 職業大分類による分類]

専門的職業	32 (8.0%)	半熟練的職業	23 (5.8%)
管理的職業	2 (0.5%)	非熟練的職業	11 (2.8%)
事務的職業	73 (18.3%)	農林的職業	2 (0.5%)
販売的職業	45 (11.3%)	非該当 (無職)	175 (44.0%)
熟練的職業	35 (8.8%)	合 計	398 (100.0%)

[SSM 職業威信スコア]

就業者223人の平均スコアは44.58、標準偏差は10.26である。

**問51** (働いておられる方へ) 何らかの役職についておられますか。(マネージャーや参事などといった選抜肢以外の役職があげられた場合には、それが選抜肢のどれに相当するかを尋ねる。)

(1) 役職なし	190 (47.7%)	(5) 部長、部長相当職	1 (0.3%)
(2) 監督、職長、班長、組長	8 (2.0%)	(6) 答えなし、不明	20 (5.0%)
(3) 係長、係長相当職	2 (0.5%)	(7) 非該当 (無職)	175 (44.0%)
(4) 課長、課長相当職	2 (0.5%)	合 計	398 (100.0%)

**問52** (働いておられる方へ) あなたの職場はどこにありますか。

(1) 自宅	52 (13.1%)	(4) その他の場所	7 (1.8%)
(2) 同じ町内	21 (5.3%)	(5) 非該当 (無職)	175 (44.0%)
(3) 岡山市内	143 (35.9%)	合 計	398 (100.0%)

**問53** あなたは日頃、仕事・余暇の時間を含め、どの程度、家や近所で過ごしますか。

(1) 毎日の大部分	236 (59.3%)
(2) 平日の晩や休日は大体いる	116 (29.1%)
(3) 平日は晩はほとんどいないが、休日はいる	7 (1.8%)
(4) 平日の晩は大体いるが、休日はほとんどいない	27 (6.8%)
(5) 休日の昼間もほとんどいない	12 (3.0%)
合 計	398 (100.0%)

**問54** あなたが最後に卒業した学校はどこですか。

(1) 小学校 (教育年数6年以内)	3 (0.8%)
(2) 中学校・旧制高等小学校 (教育年数9年以内)	32 (8.0%)
(3) 高等学校・旧制中学校 (教育年数12年以内)	220 (55.3%)
(4) 大学・短大・高専・大学院・旧制高校 (教育年数13年以上)	143 (35.9%)
合 計	398 (100.0%)

**問55** あなたのご主人のお仕事は、大きく分けてこの表のどれにあたりますか。

(1) 経営者（重役），役員	43 (10.8%)
(2) 常時雇用されている一般従業者	258 (64.8%)
(3) 臨時雇用，パート・アルバイト	9 (2.3%)
(4) 単独（個人・自由業）	18 (4.5%)
(5) 自営業主（雇っている人が1－4人まで）	51 (12.8%)
(6) 家族従業者	4 (1.0%)
(7) 無 職	15 (3.8%)
(8) 学 生	0 ( 0 %)
合 計	398 (100.0%)

問56 （ご主人が働いておられる方へ）あなたのご主人が働いている従業先は、どのような事業を営んでいますか。

問57 （ご主人が働いておられる方へ）あなたのご主人は役所にお勤めですか。民間の会社にお勤めの場合、従業員（雇われている人）は会社全体で何人ぐらいですか。

(1) 官公庁	41 (10.3%)	(7) 500—999人	14 (3.5%)
(2) な し	24 (6.0%)	(8) 1000人以上	57 (14.3%)
(3) 1－4人	50 (12.6%)	(9) 不 明	14 (3.5%)
(4) 5－29人	89 (22.4%)	(10) 非該当	15 (3.8%)
(5) 30—299人	69 (17.3%)	合 計	398 (100.0%)
(6) 300—499人	25 (6.3%)		

問58 （ご主人が働いておられる方へ）従業先で、あなたのご主人はどんな仕事をしておられるのですか。

〔SSM 職業大分類による分類〕

専門的職業	63 (15.8%)	半熟練的職業	29 (7.3%)
管理的職業	78 (19.6%)	非熟練的職業	6 (1.5%)
事務的職業	49 (12.3%)	農林的職業	4 (1.0%)
販売的職業	77 (19.3%)	非該当（無職）	15 (3.8%)
熟練的職業	77 (19.3%)	合 計	398 (100.0%)

〔SSM 職業威信スコア〕

就業者383人の平均スコアは52.68，標準偏差は13.85である。

問59 （ご主人が働いておられる方へ）何らかの役職についておられますか。（マネージャーや参事などといった選択肢以外の役職があげられた場合には、それが選択肢のどれに相当するかを尋ねる。）

(1) 役職なし	143 (35.9%)	(5) 部長，部長相当職	30 (7.5%)
(2) 監督，職長，班長，組長	35 (8.8%)	(6) 答えなし，不明	91 (22.9%)
(3) 係長，係長相当職	32 (8.0%)	(7) 非該当（無職）	15 (3.8%)
(4) 課長，課長相当職	52 (13.1%)	合 計	398 (100.0%)

問60 あなたのお父さんのお仕事は、大きく分けてこの表のどれにあたりましたか。

(1) 経営者（重役），役員	28 (7.0%)
----------------	-----------

主婦の社会的支援ネットワーク特性と精神的健康調査の基礎分析（その1）

(2) 常時雇用されている一般従業者	190 (47.7%)
(3) 臨時雇用, パート・アルバイト	2 (0.5%)
(4) 単独 (個人・自由業)	80 (20.1%)
(5) 自営業主 (雇っている人が1-4人まで)	51 (12.8%)
(6) 家族従業者	4 (1.0%)
(7) 無職	5 (1.3%)
(8) 学生	0 (0%)
(9) いなかった	38 (9.5%)
合計	398 (100.0%)

問61 (お父さんが働いておられた方へ) あなたのお父さんが働いていた従業員は、どのような事業を営んでいましたか。

問62 (お父さんが働いておられた方へ) あなたのお父さんは役所にお勤めでしたか。民間の会社にお勤めの場合、従業員 (雇われている人) は会社全体で何人ぐらいでしたか。

(1) 官公庁	64 (16.1%)	(7) 500-999人	9 (2.3%)
(2) なし	82 (20.6%)	(8) 1000人以上	23 (5.8%)
(3) 1-4人	47 (11.8%)	(9) 不明	23 (5.8%)
(4) 5-29人	52 (13.1%)	(10) 非該当 (無職ないしいなかった)	43 (10.8%)
(5) 30-299人	47 (11.8%)	合計	398 (100.0%)
(6) 300-499人	8 (2.0%)		

問63 (お父さんが働いておられた方へ) 従業員で、あなたのお父さんはどんな仕事をしておられたのですか。

[SSM 職業大分類による分類]

専門的職業	34 (8.5%)	非熟練的職業	4 (1.0%)
管理的職業	70 (17.6%)	農林的職業	60 (15.1%)
事務的職業	36 (9.0%)	不明	7 (1.8%)
販売的職業	50 (12.6%)	非該当 (無職ないしいなかった)	43 (10.8%)
熟練的職業	55 (13.8%)	合計	398 (100.0%)
半熟練的職業	39 (9.8%)		

[SSM 職業威信スコア]

職業が判明している就業者348人の平均スコアは49.64, 標準偏差は12.93である。

問64 (お父さんが働いておられた方へ) 何らかの役職についておられましたか。(マネージャーや参事などといった選択肢以外の役職があげられた場合には、それが選択肢のどれに相当するかを尋ねる。)

(1) 役職なし	167 (42.0%)	(5) 部長, 部長相当職	16 (4.0%)
(2) 監督, 職長, 班長, 組長	19 (4.8%)	(6) 答えなし, 不明	105 (26.4%)
(3) 係長, 係長相当職	16 (4.0%)	(7) 非該当 (無職ないしいなかった)	43 (10.8%)
(4) 課長, 課長相当職	32 (8.0%)	合計	398 (100.0%)

問65 (カードbを提示) 過去一年間のお宅の収入は、税込みで次の中のどれに近いでしょうか。他のご家族の方の収入も含めてお答え下さい。臨時収入・副収入も含めて、お答え下さい。

野 邊 政 雄・田 中 宏 二

(1) 200万円未満	5 (1.3%)	(6) 1001—1200万円	39 (9.8%)
(2) 201—400万円	39 (9.8%)	(7) 1201—1400万円	23 (5.8%)
(3) 401—600万円	107 (26.9%)	(8) 1401万円以上	22 (5.5%)
(4) 601—800万円	83 (20.9%)	(9) 答えなし, 不明	13 (3.3%)
(5) 801—1000万円	67 (16.8%)	合 計	398 (100.0%)

(次下次号)

(平成6年4月11日受理)